

定山溪もりづくり発表会



2011・国際森林年

地域のもりから学ぶ森林づくり 2010 -みんなで学ぶ森林の生物多様性-

目的 地域と森づくりの重要性を共有し今後の展開を市民と考える

日時 平成23年2月23日 水曜日 午後1時30分より

場所 定山溪中学校 体育館

主催 林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター

時間	日程	講師等
13:30	開会	進行 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター 自然再生指導官 松本 誠
13:30～ 13:35	挨拶	北海道森林管理局 計画部長 内田敏博 定山溪観光協会 会長、みずもり会議 代表 上野 昌男
13:35～ 13:40	時間割・案内等	石狩地域森林環境保全ふれあいセンター
13:40～ 14:00	もりのお話し 「定山溪の森林とミミズ」	北海道大学大学院 地球環境科学研究院准教授 春木 雅寛
14:00～ 15:00	パネル・ディスカッション 「森林の生物多様性」講師活動報告	〔コーディネーター〕 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター所長 志鎌睦 ----- 独立行政法人 森林総合研究所北海道支所 ・野生動物相:野生生物分野 主任研究員 平川 浩文 ・歩行生甲虫相(昆虫):昆虫分野、生物多様性 チーム長 上田 明良 ・菌類相:森林生物研究グループ 森林病理分野 チーム長 山口 岳広 独立行政法人森林総合研究所 林木育種センター ・北海道育種場遺伝資源管理課長 高倉 康造 ・森林空中写真・判読 技術士事務所 森林航測研究 代表 板垣 恒夫 ----- まとめ 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター所長 志鎌睦
15:00～ 15:15	定山溪中学校活動報告	定山溪中学校生徒、教諭 歌川雅也
15:15～ 15:25	市民と意見交換	石狩地域森林環境保全ふれあいセンター
15:25～ 15:30	閉会	定山溪地区まちづくり協議会 会長 中西 博

パネル・ディスカッション内容・項目

コーディネーター 所長 志鎌睦

;項目は、定山溪中学校生徒の感想から抜粋したもの



2011・国際森林年

<p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民モニタリングと市民、大学生、定中によるマニュアルづくり ・感想と今後について ・話題性の有るもの(当日の流れと感性で) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の個性と多様性(高倉) ・デジタルとアナログの融合など(板垣)
<p>講師</p>	<p>森林の生物多様性</p>	<p>項目</p>
<p>森林病理分野 チーム長 山口岳広</p>	<p>菌類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分解者 ・ 共生菌(木との共生、根粒菌) ・ 土壌のでき方 ・ 生物同士のつながり ・ 毒キノコを食べられる動物 ・ カビとキノコは同じ ・ 木の病気と菌の関係
<p>昆虫分野、生物多様性 チーム長 上田 明良</p>	<p>歩行生甲虫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手法の確立:わかりやすい ・ 同定は難しいが、ピットフォール法だと種類や数量がわかりやすい ・ 森林と草地の違いがわかりやすい ・ トガリネズミ
<p>野生生物分野 主任研究員 平川 浩文</p>	<p>野生動物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中は見ることができない動物の存在を確認できる ・ 外来種の存在を知ることができた(奥地の森林にも人間の影響) ・ データを集めることによって、道内や全国の調査結果と比較が可能
<p>北海道育種場 遺伝資源 管理課長 高倉 康造</p>	<p>種子 苗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種の種類 ・ 豊凶 ・ 飛散方法 ・ カラマツの育種 ・ エゾマツとポット苗
<p>森林航測研究 代表 板垣 恒夫</p>	<p>航空写真(空中写真)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い面積の観察が可能 (広い地域を一緒に観察できて、林相や、植生の違いが全体の中の繋がりと理解できます。) ・ 遠いところや危険な「行けない場所」の観察が可能 ・ 樹木を単木毎に観察 ・ 空間地の植生を観察 ・ 地形の様子を観察 ・ 時間を違えて観察すれば、生物多様性の移り変わりを調べることが可能 ・ 観察できない「森林空間や地表・土壌」は詳しく調べれないが、それぞれの調査成果との関連から推定が可能
<p>[森林生態系に関する話題等] 北海道大学大学院 地球環境科学研究院准教授 春木 雅寛</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 道木とエゾマツ南限 ・ 定山溪の森林の貴重性 ・ 木材は唯一持続性のある天然資源 ・ 木材利用

プレゼン順番

講 話	<p>もりのお話し「定山溪の森林とミミズ」 北海道大学大学院 地球環境科学研究院准教授 春木 雅寛</p>
<p>パネル・ディスカッション 「森林の生物多様性」 講師活動報告</p>	<p>独立行政法人 森林総合研究所北海道支所 ・歩行生甲虫相(昆虫):昆虫分野、生物多様性 チーム長 上田 明良 ・菌類相:森林生物研究グループ 森林病理分野 チーム長 山口 岳広 ・野生動物相:野生生物分野 主任研究員 平川 浩文</p>
	<p>独立行政法人森林総合研究所 林木育種センター ・北海道育種場遺伝資源管理課長 高倉 康造</p>
	<p>・森林空中写真・判読 技術士事務所 森林航測研究 代表 板垣 恒夫</p>

1 水と土を守る働き

- ・山くずれを防ぐ、雨水を柔らかく受け止めて川に流れ出る量を調節する。
- ・地中でろかし、養分を溶かした水を川に流す。などの働きがある。



2 人の暮らしを守る働き

- ・家や畑などを、強風や吹雪、砂、霧から守る働きがある。



3 我々の暮らしを支える木材を供給する働き

- ・家の材料、家具、食器など日常生活で利用する木材を供給する働きがある。



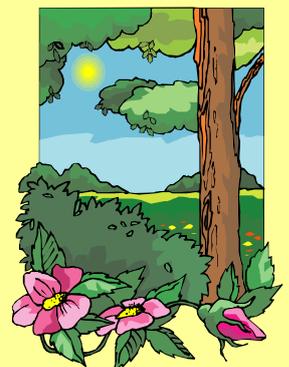
4 野生の生き物のすみかとしての働き

- ・タカやフクロウなどの大きな鳥から菌類に至るまで多くの野生の生き物たちがすんでいる環境を育てる働き。



5 人の心を豊かにし、文化を育む働き

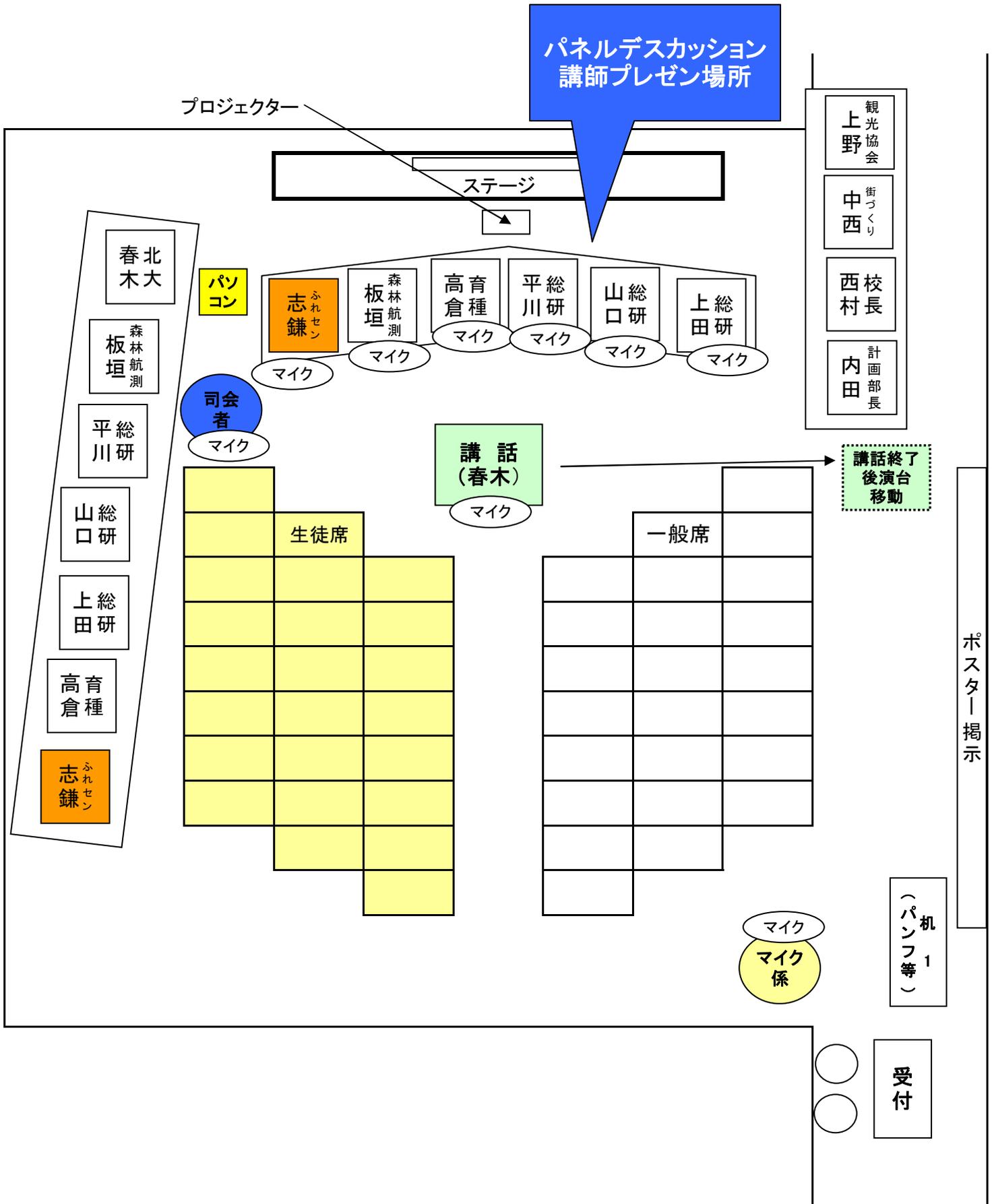
- ・心と身体を休める場。
- ・レクリエーションの場。
- ・美しく雄大な優れた景色などをみんなに与えてくれる働き



木材は唯一、持続性のある天然資源。上手に利用しよう！



席順・机等配置



[出入口]